


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	のだ てつお	
氏名	野田 哲夫	
所属・役職	島根大学法文学部・教授 中国情報通信懇談会 地域情報化・コンテンツ部会 部会長 しまね OSS(オープンソース・ソフトウェア)協議会 副会長	
略歴	<p>1986年3月 一橋大学商学部商学科卒業</p> <p>1988年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了（理論経済学専攻）</p> <p>1991年3月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了（理論経済学専攻）</p> <p>1992年4月 島根大学法文学部助教授</p> <p>2004年10月 島根大学法文学部教授</p> <p>現在に至る</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ➤ IT産業・コンテンツ産業を中核とした地域情報化、地域産業振興の分野 ➤ IT活用による地域産業の高度化、人材育成の分野 ➤ オープンソースを活用した地域産業振興：地方自治体がOSS(オープンソース・ソフトウェア)を活用することで効率化を進めるだけでなく、地域の情報産業振興につなげる取組 ➤ オープンデータによる地域振興・地域活性化：行政情報を公開し、地域で簡単にアクセス・編集・再配信可能なプラットフォームを構築、地域振興・地域活性化につなげる取組 	
自治体向け メッセージ	<p>専門である経済学の分野で情報化と経済成長・産業振興をテーマに研究・教育活動を行い、またその知見を地域情報化、地域振興につなげようと考え活動を続けてきました。その中で地域での情報基盤整備、情報化投資、さらに利活用のためのアプリケーション導入と併せて、これを活用するための人材育成の重要性を痛感しました。これは行政側における課題発見・解決・企画の段階からエンドユーザである住民のレベルの人材の育成まで幅広い課題だと思えます。研究での成果の他、島根県や松江市で自らが関わったプロジェクトの経験を踏まえて、地域情報化とこれを支える人材育成に微力ながら貢献できればと考えています。</p>	
関連URL	<p>Web http://www.eco.shimane-u.ac.jp/nodat/</p> <p>Facebook https://www.facebook.com/tetsuo.noda.18</p>	

<p>地域情報化 に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>島根大学法文学部で情報経済論・情報産業論を担当 情報化と経済成長・産業振興に関する研究・教育活動を行う 論文:「地方自治体のオープンソース活用政策と地域産業振興政策」 「オープンソースのプログラミング言語 Ruby による地域産業振興 松江から世界へ」 「オープンソース・ソフトウェアの活用と開発貢献における地域性の考察」 「オープンデータによる経済効果推計の手法に関する考察」等多数</p> <p>2006 年に島根県松江市においてプログラミング言語 Ruby とオープンソースを中心として産業振興と人材育成を進める産官学の組織:しまね OSS(オープンソース・ソフトウェア)協議会を立ち上げる。 現在までしまね OSS 協議会副会長として Ruby とオープンソースに関するセミナーの開催、国際会議(RubyWorld Conference)、全国会議(オープンソースカンファレンス)の開催を続ける。</p>
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>2005年 島根県地域振興部・情報政策研究会座長 2006年 邑南町・e-むらづくり推進委員会委員 2006年～現在 しまねOSS(オープンソース・ソフトウェア)協議会 副会長 2008年～2011年 松江版地域SNS運営委員会委員長 2009年～現在 中国情報通信懇話会 地域情報化・コンテンツ部会長 2010年 緑の分権改革推進会議・ICT利活用分科会 2011年 島根県地域情報化戦略策定委員会委員長 2013年 信州OSS推進協議会セミナーでの講演(地域情報化アドバイザー) 2014年～2016年 島根県雲南市情報化計画アドバイザー 2015年～2016年 岩手県大槌町ICT人材育成のアドバイス (地域情報化アドバイザー) 2011年 島根県地域情報化戦略策定委員会委員長 2016年 島根県大田市情報化計画アドバイザー</p>